

こなん水辺公園ニュース

2013年5月号(通算第19号)

こなん水辺公園解説員グループ編集

■新緑と青空 撮影 5月18日



5月12日の写真です。寒い日が多かった4月の北陸地方。春の訪れはいつもの年より2週間ほど遅いと感じています。平地や里山ではあまり感じませんが、雪の多い山岳地方では、未だに通行止めの部分もあり、雪との戦いが続いています。

気持ちの良い日でした。木々が芽吹き、葉を広げ、朝日に映えています。公園の西側の小道沿いのヤナギが美しくなり、シャッターを押しました。道を挟んだ池の周りにアシが芽吹き、盛んに成長しています。オギは、やっと芽を出し始めました。

木々の花暦

■ケヤキの花 5月12日



ケヤキが花を付けるのは一週間ほどでしょうか。葉っぱの付け根に桃色の小さな花を咲かせます。小さな花ですが、受粉が終わると花びらを落とし、木の下がピンク色に染まります。気づく人は少ないかもしれませんが、見つけたときは、「やった、うつくしい・・・」と思うのは私だけでしょうか。

初冬に、3ミリ程の実を付けます

■スダジイの花 5月18日



公園の西側にあるスダジイです。黄色い葉っぱと同じような色なので見にくいですね。細く飛び出した部分です。クリの花のような匂いはありません。

公園には数本のスダジイがありますが、実を付ける木は2本だけです。この木も実は付けません。ドングリ好きの私にとって、「なぜ？」に答えてくれる人はいませんか。

マツ(クロマツ)の芽吹き 5月18日



この公園にあるマツは、すべてクロマツです。長く(白く)伸びているのは今年伸びた枝で、根元に雄花(茶色)が成長します。そして、枝の先に数個の雌花(紫色)が付きます。

写真では小さく写っていますが、下の方に松ぼっくりの子供が見えます。昨年の春に受粉した実で、2年目の大きさです。ゆっくりと成長し、成熟した松ぼっくりになるのは、秋になります。

■こなん水辺公園救援隊

～ヨシ舟を作る～



こなん水辺公園救援隊では、昨年11月23日、12月15日、16日と三回にわたって園内に自生するヨシ（アシ）の刈り取りを行いました。

かつて公園周辺の地域ではヨシを屋根材などに利用していたため、質の良いヨシができるようヨシ原の手入れがおこなわれていました。人が利用し、手入れをすることでヨシ原が良い状態で存在していました。しかし、現在ではそのようなこともなくなり、ヨシ原も少なくなってきました。地域本来の植生が弱ってきているともいえます。

そこで、昔のようにヨシを利用し、良いヨシ原をつくることで、地域本来の植生が保たれることを目指して、ヨシ刈りを行いました。そうして刈り取ったヨシは束ねられ、左の写真のように園内に立てかけられていました。ご覧になられた方も多いと思います。このヨシは、5月19日に救援隊隊員によって別の場所へ移され、保管されています。どうするのかという・・・舟をつくります！

ヨシ舟を作り、公園隣の大宮川で試乗するイベントを開催します。現在のところ、開催日時は未定ですが夏頃(7月～8月)を予定しています。皆様ぜひご参加ください！

また、救援隊員もまだまだ募集しています。救援隊ではヨシ舟づくりのほかに、隊員のアイデアをもとに色々な活動を行う予定です。公園で何かやってみたいということがあられる方、救援隊で実現させましょう！！参加を待っています☆★☆☆★☆☆

救援隊参加申込み・ヨシ舟作りお問合せ先

NPO法人河北潟湖沼研究所

FAX 076-255-6941

メール info@kahokugata.sakura.ne.jp

お名前、ご住所、FAX番号またはE-Mailアドレスをお知らせください。

■草刈り

5月18日



公園には定期的に草刈りが入ります。先日、今年最初の草刈りが行われました。公園の住所にもなっている東蚊爪町の農家さんを中心に15名ほどが一度に作業します。翌日の16日も作業を行い、今回の草刈りは終了しました。

公園ですので人の手が入ることは仕方ありません。しかし、残念なこともあります。除草により地面に日光が入り、より雑草が繁茂することです。公園の中心的な植物にアシとオギがあります。このアシ原にはセイダカアワダチソウなどの進入はわずかです。でも、刈り取られた後には、雑草が一番に進入し勢力を広げます。難しい問題ですね。

■ベニシジミ

5月12日



シジミチョウは春先に最初に登場する蝶かもしれません。モンシロチョウも早いですが、この種もたくさん目に付きます。

幼虫の頃は、スイバやギシギシなどを食べて育ちます。この公園にもたくさんある植物で、探せば幼虫も居るでしょうね。

写真のベニシジミは、春型で色が鮮やかでした。濃い褐色は羽根を広げてくれないと見えません。身を潜めてじっとしていると、ゆっくりと羽根を広げてくれました。ハルジオンとベニシジミのツーショットは、正に春の景色です。

この後も、トンボやチョウ、野鳥の姿も見られます。時間ができたら、遊びに来てください。

発行 2013年5月25日

制作 こなん水辺公園解説員グループ (NPO 法人河北潟湖沼研究所内)

連絡先 〒929-0342 河北郡津幡町北中条ナ9-9 Tel.076-288-5803